

リトラス 中古車100台以上展示 苫小牧に北海道支店オープン

【北海道】中古トラックの販売・買取

を手がけるリトラス(東京都港区)は、このほど、国内9拠点を合わせた「サビ」の問題もあって本土で走っていた車両を好むと目となる北海道支店を苫小牧市新開町にオープン。地元ニーズに沿った中古車両を、常時100台以上展示する。

支店長の田中雅一氏は、「コロナの感染拡大を避けるため、オープンニングフェア的な派手なイベントは自粛したが、北海道最大規模の在庫数は、地元ユーザーの皆さんからの反響が予想以上に大きく驚いている」と語る。

同支店長は、「道内のユーザーは中古車を手がける場合、『サビ』の問題もあって本土で走っていた車両を好むと聞いています」とし、「当社では、ユーザーに安心して購入頂けるように一定の品質管理基準を設けているが、これまで扱ってきた品質レベルの車両をこちらで展示・販売すれば、非常に喜んで頂けるはず」と自信を示す。

さらに、「当支店以外の国内8つの展示場で1000台以上を保有しているが、それらも含め、提案できるように取り組んでいく」と付け加える。

新支店の開設について異次元専務は、「これまで北海道のユーザーからの問い合わせは非常に多く、いずれ出店したいと考えていたが、出すなら高年式かつニーズに合致した車両をしっかりと揃えて展示できる場所を、と探し続けていた」と説明。



リトラス北海道支店

「今回、36号線に面した立地条件の良いこの場所が見つかり、話を進んで運営していきたくて呼びかけた。」と参加者全員が近況報告を行い、「イベント関係の資材運搬・設置の仕事が全くなかった。備車に回っていた仕事を自社で取り込んでいく」

「北海道のトラックユーザーの皆さんから、『リトラスができて良かった』と言ってもらえるよう、地域に根ざした営業活動を展開していく」と説明。「状態の良い車両を本土で調達し、現車確認が道内で可能になるなど利便性が向上した。ぜひ、気軽に展示車両を見に来てほしい」と呼び掛ける。

同支店は、道央自動車「苫小牧東IC」から沼ノ端方面へ約7.5キロ(12分)。JR室蘭本線「沼ノ端駅」から同4キロ(8分)。

(大西友洋)

ハイブリッド型で例会

北海道物流人倶楽部 近況報告と情報交換

【北海道】北海道物流人倶楽部(斉藤博之代表幹事、北海道物流開発)は14日、札幌パークホテルで49回目の例会を開

き、直前(17日)まで、スへの対応のため、初めてZoomとリアル型のハイブリッド型で、「人が集まる形」としては、およそ8か月ぶりとなった。

い。今後につながるヒントを持ち帰ってもらい、それぞれに貢献できる場所として

て運営していきたくて呼びかけた。」と参加者全員が近況報告を行い、「イベント関係の資材運搬・設置の仕事が全くなかった。備車に回っていた仕事を自社で取り込んでいく」

前年比50%減少したハイブリッド営業を行い、予定以上の顧客獲得につながった」といった前向きな声もあった。

(玉島雅基)

茨ト協 水戸トラック休憩所など売却を決定

【茨城】茨ト協(小林幹愛会長)の水戸、および県西トラック休憩所の売却が正式に決まり、9月初旬

から売り出し告知がはじまった。水戸トラック休憩所(水戸市)は、JR常磐線「内原駅」から1500坪の場所。建物は、鉄筋コンクリート造り陸屋根平屋建て。希望小売価格は土地(4315平方坪)を含めて5150万円。

県西トラック休憩所(結城市)は、鉄筋コンクリート造り

神ト協 全会員に向けて配布 コロナ対策マニュアル

【神奈川】神ト協(吉田修一会長)は、会員事業者の新型コロナウイルス感染症対策の一助とするため、全会員に向けて配布した。

あわせて、同マニュアルの配布に際して、協会施設内の飛

「真空リフター」体験

沼尻産業がデモンストレーション

【茨城】沼尻産業(一)を30人の社員が

せると、見ている人たちが「おー」と言う声が上がった。同社は「今後お



真空リフト機のデモンストレーション